



国立市観光まちづくり協会

—国立のまちづくりのために—

一国立市観光まちづくり協会が始まった経緯

国立市観光まちづくり協会は13年前に国立市商工会が「国立市中小企業振興基本条例」に沿った取り組みとして「地域活力創出委員会」を立ち上げました。その後、平成20年10月に国立市観光まちづくり協会としてNPO法人の認可を受けてスタートし、住んでよし、訪れてよしの活力あるまちづくりに向けて活動を広げてきました。



国立市観光まちづくり協会
公式キャラクター「くににゃん」▷

一会費で運営する日本でも珍しい観光協会ですが、他に特色があれば教えてください。

ほとんどの観光協会は、行政によって立ち上げられた観光協会ですが、当協会は国立市商工会の「地域活力創出委員会」としてスタートした生い立ちから、会員の会費に支えられた観光まちづくり協会として誕生し、この経緯が、当協会の特色になっており、ボランティアに支えられた自立した組織です。しかしながら、会員の会費で支えられた国立市観光まちづくり協会の最大の悩みは財源の確保であり、さまざまな助成金を取り込みながらの事業展開で財源確保に苦勞しております。

一市民の皆さんに知ってもらいたい活動を教えてください。

国立市よりシティプロモーションを目的としたフィルムコミッション事業を受託しておりますが、国立市内を舞台とした映画「四月の永い夢」のロケ協力を行い、この映画で、国立のまちの魅力、日常が映像化されています。作品はモスクワ映画祭2017にて、批評家賞を受賞しています。芸小ホールでの試写会も行いましたが、まもなく5月からの劇場公開が始まります。



△「四月の永い夢」ポスター

東京観光財団の春のライトアップモデル事業費助成金をいただくことができ、くにたち大学通りライトアップ計画も実現、今年も国立の夜桜の魅力を引き立てます。



△大学通りのライトアップの様子

また、ボランティア活動にささえられた観光案内人の活動も大きな成果を上げてきています。活動内容は「<ちょこ旅>観光案内人便り」としてA4カラー版にまとめられ、取り組みの後にすぐ発行され、80号になって、貴重な観光案内資料となっております。4月には「くにたち観光案内人」養成講座の開催も企画し、ボランティア活動を支えていただける方々の養成にも取り組んでいます。



観光案内人▷

一市民のみなさんに伝えたいこと。

国立市観光まちづくり協会としても行政との横断的な連携を強化して、国立の魅力を向上させる幅広い活動をひろげていきたいと考えます。

2020年春には旧国立駅舎が国立駅南口にもどり、文化財として再築され、市内外の人々が集う交流拠点となります。国立の歴史や魅力を発信する玄関口であり、文教都市にふさわしい、歴史・文化・芸術の発信基地としての価値をどのように広げていけるのか、国立のまちづくりのために市民のみなさんと共に考え、知恵をだしあっていき取り組みを国立市観光まちづくり協会としても進めていきたいと考えております。

国立市観光まちづくり協会

平成18年6月 国立市観光まちづくり協会 設立
平成20年10月 東京都より非営利活動法人として認定